

高森町立高森南小学校



(1) 学級数 24 学級

(2) 児童数 554 名 (5月1日現在)

(3) 職員数 57 名

(4) 学校紹介 <https://takamori-minami-els.edumap.jp/>

高森南小学校は、昭和8年に各地区にあった学校の統合校舎として現在の場所に建設された。昭和32年の市田村と山吹村の合併により高森町が誕生し、高森南小学校に校名が変更となった。「日本一の学校桜」として有名なソメイヨシノは、昭和6年と昭和8年に植樹した記録が残る。学校桜は、管理業者、保護者、若手農業者及び樹木医等の皆様の手入れのおかげで樹齢94年となった。



また、学校敷地内には高森町発祥の特産品「市田柿」の木が植えられており、毎年4年生は収穫、皮むき、柿つるしなどを地域の方々と一緒に体験している。



【市田柿について学ぶ】

学校教育目標「より強く より豊かに生きる市田の子ども」を受け、今年度の重点目標を「やってみよう！～子どもの声から創る～」とした。6年生のアイデアである、「学校桜プロジェクト～学校桜をいろいろな人に知ってもらおう～」、「裏山改造計画」、「中庭リフォームプロジェクト」を総合的な学習の時間に位置付け、6年生は地域や他学年と関わりながら学んでいる。



【桜について学ぶ】

また、子どもの「やってみよう」を実現するため、子どもが考えた有志によるイベントやサークル活動（バンドライブ、読書サークル、防災体験合宿など）にも取り組んでいる。



【有志によるバンドライブ】

(5) 日常的な情報機器の活用

クラウドはGoogle Workspace for Education、ロイロノート・スクール及びCanva等を利用している。特に今年度は国語科の学習で活用を進めており、例えば第6学年「書くこと」（「デジタル機器と私たち」光村図書）では、ロイロノート・スクールを用いて自分の考えた文章をカードに書いて動かしながら、筋道の通った文章となるように文章全体の構成や展開を考えた。また、第5学年「読むこと」（「銀色の裏地」光村図書）では、Canvaを用いて心情曲線をかき、登場人物の相互関係や心情などについて描写を基に捉えた。さらに、同「読むこと」（「たずねびと」光村図書）では、ロイロノート・スクールを用いて、事前に教師が貼り付けた教科書の叙述に線を引くとともに叙述の横に考えを入力して共有し、登場人物の心情や情景が表れている叙述に気付いた。なお、Google スプレッドシートを用いて毎時間の授業の振り返りを共有している。



【「たずねびと」の学習】

(6) 課題等

今年度の全校研究テーマを「聴き合う～ペア・グループの学びを支える教師のあり方～」とし、子どもが主体的に友と



【「たんぼぼのちえ」の学習】

関わり、聴き合う学びを目指している。資質・能力の育成のために、「クラウド上で瞬時に考えを共有すること」や「ペア・グループで双方向に考えを伝え合い聴き合うこと」等を、教師や児童が学習場面に応じて適切に選択できるかが課題である。